

原稿

「とくしゅさぎに気をつけて」 作者 achimaru

ア ある日のほうか後、カイくんは おじいちゃんとおばあちゃんの家で 遊びに行きました。

おやつを食べながら テレビをみていると…。

イ 「今日、とくしゅさぎがありました。」とアナウンサーが言っています。

ウ とくしゅさぎって何だろう…と思ったカイくん。

「とくしゅさぎって なあに？」と おじいちゃんとおばあちゃんに 聞いてみると

エ 「とくしゅさぎっていうのは、わるい人が だれかのふりをして 電話をかけ、お金をぬすんだり、やくしよや ぎんこうのふりをして、通ちょうやカードを ぬすもうとすることなんだよ。」

とおじいちゃんが 教えてくれました。

オ おどろいたカイくん。

「え！じゃあ、にせもののお父さんが電話かけてくるの？」

「そう。お父さんだけど、お金がすぐほしいからもってきてとか、とりに行くからねとか言うんだよ。」とおじいちゃん。

カ 「こわいねー。じゃあ、へんな電話が来たら1回切って、家ぞくにそうだんしたほうがいいね。」

「そうだね。わたしたちも気をつけないとね。」とおばあちゃん。

キ 数日後…。

おばあちゃんから電話がかかってきました。

「お父さんいる？」としんばいそうな声をしています。

「いるよ！今日はリモートワークだから、家でしごとしてる。」とカイくん。

ク 「そうなのね。あーよかった。さっき電話が来たの。お父さんが、お金が入ったかばんを落としたって言ってね…。カイくんに電話してよかったわ。」

ケ 「おばあちゃん、電話はいつも、るすでんにしたほうがいいよ。」

「そうね。本当に気をつけなくちゃね」